



各地で梅雨が明け、いよいよ夏本番！という声が聞かれています。既に日本全国で35度を超えるような猛暑の地域も多く、熱中症などの健康被害が心配される日々が続いています。この暑さの中、九州や東北の豪雨で被災された方々、さまざまな困難にある方々の健康が守られますようにと祈りつつ「ひとりの小さな手 通信 第35号」をお届けします。

『八月がくるたびに』これは、小学校の時に課題図書で読んだ本のタイトルですが、もう数十年経った今でも題名そのままに、8月がくるたびにこの本のことを思い出します。長崎の原爆をテーマにした作品で、内容と挿絵が小学生だった自分に大きな衝撃を与えたのですが、当時、「どうして戦争をするのだろう」「どうしてたくさんの人が殺されなければならないのだろう」「また戦争が起こったらどうしよう」と思い、恐ろしくてし方がなかったことを覚えています。その思いは、今、毎日のニュースで伝えられるロシアのウクライナ侵攻による戦禍の様子を見ても同じです。「どうして大切な日常を破壊し攻撃し続けるのだろう」「尊い命を傷つけ奪い合うことを止められないのだろう」考えても答えは見つからず、自分の無力を突き付けられます。それでも、私たちは、平和を祈り求めていかななくてはならないのだと思います。

子どもたちの夢と希望あふれる未来のために、子どもたちと共に、戦争について学び、平和について考え、被災地や戦禍にある人々のことを「わすれない」夏を過ごしていきましょう。

「ひとりの小さな手」

ひとりの小さな手 何もできないけど
それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる
ひとりの小さな目 何も見えないけど
それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える
ひとりの小さな声 何も言えないけど
それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える
ひとりで歩く道 遠くてつらいけど
それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる
ひとりの人間は とても弱いけど
それでもみんなが集まれば 強くなれる強くなれる

◇活動報告 2023年3月～

○コンサート、チャリティー、募金 等

・2023年3月21日(祝・火) 第23回 チャリティーコンサート

「春の風に平和への想いをのせて」

フルート 中瀬加寿子さん
ハープ 堀米 綾さん

東日本大震災から12年となった今年の3月、フルートの中瀬加寿子さんとハープの堀米 綾さんをお招きして、チャリティーコンサートが開かれました。

フルートの優しく力強い響きとハープの優雅な音色に包まれながら、自然災害で被災された方々、戦禍にあるウクライナの人々に心を寄せて祈るひと時を持つことができました。当日は、ウクライナ出身の卒園生保護者である清水ターニャさんがお嬢さんと共にいらしてください、ウクライナの現状や日本に避難して来ている子どもたちの様子を伝えてくださいました。1日も早い戦争の終結と母国の復興を願い支援活動続ける清水さんのお話を伺い、私たちも自分にできることを考え、さまざまな形での支援と応援のメッセージを届け続けていこうという思いが強められました。



第63回生 すみれ組

清水安里紗さんとお母さんのターニャさん



直接、支援金をお渡しすることができました。

チケット代金	48,500円
手作り品バザー	38,000円
ケーキバザー	18,700円
募 金	25,000円
ひまわり募金	14,000円
募金箱より	38,989円

(2023年3月21日現在)

・2023年6月

手作りマーマレード、梅干しチャリティー販売 56,300円

ひまわり募金・香り募金 9,700円

(9月末～7月20日)

○被災地との交流、支援

・2023年3月

卒園生清水ターニャさんを通して
日本へ避難して来ているウクライナの子どもたちへ

100,000円

(2回に分けてお渡ししました)

◇運営費、材料費などの経費を除き、急な災害支援のための用意をしています。

◇今後の予定

チャリティーコンサート Vol. 24

日時 2023年11月23日(木・祝)

出演 高田ひろ子さん(ピアノ)

渡邊有希子さん(ソプラノ)

ピアノと歌で、子どもたちも一緒に楽しむことのできるコンサートです。
多くの皆さんと共に、戦禍の続く国々、地震や豪雨などの自然災害で被災された地域、さまざまな場所で大きな不安や苦しみを抱え困難の中にある人々を想い、平和を祈りたいと思います。
どうぞご予定いただきますようお願いいたします。

チャリティーコンサート Vol. 25

日時 2024年3月20日(水・祝)

出演 ヴァイオリン 中西 俊博さん

ピアノ 瀬田 創太さん

中西さんはヴァイオリン界の巨匠。
2011年 第1回 チャリティーコンサートで演奏してくださいました。
おとな向けのデュオコンサートです。

チケットはおとなも子どもも 500円



発行 2023年7月27日
ひとりの小さな手プロジェクト

事務局 〒2200032 横浜市西区老松町30地
野毛山キリストの教会・子どもの教会 野毛山幼稚園
根岸ひろみ 浅井知美 奈良亜樹子



Charity Concert vol.24

高田さんと 有希子さんと 時々けろちゃん

日時 2023年
11月23日(木・祝)
10時開場 10時30分開演

おとなも子どもも
チケット 500円

場所 野毛山キリストの教会
礼拝堂

主な曲目

日本の四季
サウンド・オブ・ミュージック
他



高田ひろ子 /ピアノ

出演



渡邊有希子 /ソプラノ

大阪府出身。5歳からピアノを学ぶ。小学5年からサイモン&ガーファングルなどをギターで演奏していた。ジャズ奏法を高瀬アキ氏に、作曲法を二橋潤一、松平頼晴の両氏に、現代音楽ピアノ奏法を平尾はるな氏に師事。「Piano Now」ではG.リグティや柳慧の作品を演奏。1995年より、自己のグループを結成。以来、オリジナル曲を中心に、カルテットや、トリオ、デュオで7枚のリーダーアルバムをリリースしている。デビュー作『a song for someone』はディスクユニオンの選ぶ「1990年代 Best50」の一枚に選ばれた。1996年～2004年には、スイス人ベーシスト、パンツ・オスターとのデュオでスイスと日本をツアー。20年12月、Noriko Suzuki (vo) 率いるグループ「Be-Spell」で、チエコの小説家 M. クンデラの『存在の耐えられない軽さ』を音楽化するプロジェクトで、作曲とピアノを担当し、アルバムをリリース。現在は、小美濃悠太 (b)、岩瀬立飛 (ds) とのトリオ、安川大樹 (b)、橋本学 (ds) とのトリオ、Be-spell、さがゆき (vo) とのユニット「Peaceful Dreams」などを核に、カルテットや、様々な楽器や歌とのコラボレーション、またソロ演奏も行っている。

岐阜県加茂郡富加町出身。物心がつく前から歌うことが好きで、幼少よりピアノを始め、小学3年の時に関市少年少女合唱団へ入団。中学3年より声楽を学ぶ。岐阜県立加納高校音楽科卒業。国立音楽大学声楽科卒業。卒業時に武岡賞受賞(主席)。東京芸術大学大学院修士課程独唱科修了。修士課程ではシューベルトの歌曲研究に取り組む。卒業後はバロック作品も多く学び、バロックから初期ロマン派まで得意レパートリーとする。

宮内庁桃華楽堂での御前演奏会を始め、各種の演奏会に出演。宗教曲では、モンテヴェルディ、バッハ、モーツァルト、シューベルト等の作品のソリストや少人数アンサンブルにも参加している。

第23回友愛ドイツ歌曲コンクール第2位。第1回岐阜国際音楽祭コンクール声楽一般の部第3位。第26回国際音楽コンクール(山梨)第3位(1位無し)。これまでに曾我榮子、故佐竹由美、故朝倉蒼生、佐々木典子、故森晶彦の各氏に師事。ジョン・エルウイス、エマ・カークビー、ルーファス・ミューラー、ロベルタ・マメリ等海外の名歌手のマスタークラスでも研鑽を積む。

現在、横浜市在住。2015年に息子を、2017年に娘を出産。母になってからは、0才から楽しめる朝しみやすいクラシックや童謡のコンサートにも力を入れ、日本語の歌にも定評がある。2018年に結成したママ音楽家による音楽グループ Clara Musica は2023年に5周年を迎え、音楽付き朗読絵本「あったかい背中」を出版する等、活動の幅を広げている。

とにかく歌うことが好きなおことでした。基礎はクラシックにありますが、童謡、唱歌、民族音楽、ポピュラー音楽等のジャンルを問わず、心に響く作品を生産して歌い続けていきたいと思っています。



けろちゃん